

コサナエ

兵庫県：C

Trigomphus melampus

環境省：—

種の概要

腹長26～32mm、後翅長22～28mm程度。東北日本に分布中心がある種で、兵庫県から中国地方にかけては、日本海側にしか見られない。翅胸前面にL字型の黄色紋がある小型のサナエトンボ。腹部背面と側面に黄色の斑紋を有する。平地から山地の水田用水路、細流、湿地などに生息し、幼虫は浅い泥底に見られる。成虫は4月～6月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

北海道、本州

県内分布記録

豊岡市、香美町、新温泉町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○				○

特記事項

新産地の発見が少なくなっている。現状ではBランクの状態であるが、兵庫県北部の広範な調査が十分行われているとはいえ、分布状況に不明な点が多いので、Cランクのままとしておく。

保護上の留意点